NTシリーズ 仕様表

SIP対応VoIPゲートウェイを各種インタフェース向けにラインアップしています

機種名		NT-4e（BRI）		NT-4e（OD）	NT-4e（FXS）	NT-23e
形名		NT4E-BRIHWB	NT4E-BRIHWA-S	NT4E-ODHWA-S	NT4E-FXSHWA-S	NT23E-PRIHWA-S
用途		BRIインタフェース対応 VoIPゲートウェイ （TEモード/NTモード対応）	BRIインタフェース対応 VoIPゲートウェイ （NTモードのみ対応）	ODインタフェース対応 VoIPゲートウェイ	FXSインタフェース対応 VoIPゲートウェイ	PRIインタフェース対応 VoIPゲートウェイ
外観						
LANインタフェース		10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T				
ポート数	WAN側	1	1	1	1	1
	LAN側	4※2	4※2	4※2	4※2	2※2
音声インタフェース		BRI(2ポート)	BRI(2ポート)※3	OD(4ポート)	FXS(4ポート)	PRI(1ポート)
迂回インタフェース		–	–	–	–	–
クロック同期インタフェース		BRI(1ポート)※4	BRI(1ポート)※4	–	–	BRI(1ポート)※4
音声チャネル数		4	4	4	4	23
Regist数		500	500	500	500	500
符号化方式		G.711(64kbit/s)/G.729a(8kbit/s)				
FAX通信方式		みなし音声（G.711）				
保守方式		LAN/WANインタフェースからのWebブラウザ保守				
電源条件		約20VA	約20VA	約20VA	約20VA	約40VA
外形寸法※1	幅×奥行き×高さ(mm)	約210×160×55	約210×160×55	約210×160×55	約210×160×55	約435×200×44※5
質量	(kg)	約1.0	約1.0	約1.0	約1.0	約3.0
周囲条件		温度：0~40℃、湿度：20~80%(ただし、結露なきこと)				

※1 外形寸法には、コネクタ(突起部)は含みません。
※2 LANポートの内1ポートは保守端末接続用となります。
※3 NTモードのみとなります。
※4 迂回インタフェースとしては利用できません。
※5 外形寸法には、ゴム脚部は含みません。19型ラックに搭載できます。

⚠ 安全に関するご注意 正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」、「使用上のご注意」などをよくお読みのうえ、おまもりください。

https://www.hitachi-ite.co.jp/products/voip/nt.html

株式会社 日立情報通信エンジニアリング

●カタログに記載の仕様、外観は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。
●カタログに記載の機能・仕様によっては、製品のバージョンアップが必要となる場合があります。製品のバージョンについては弊社担当営業にお問い合わせください。
●製品の色は印刷されたものですので、実際の製品の色調と異なる場合があります。
●本製品の開発・製造は、原則として日本国内での使用を想定して実施しています。本製品を輸出する際は、輸出者の責任において、輸出関連法令等を遵守し、必要な手続きを行ってください。
海外の法令および規則への適合については当社はなんらの保証を行うものではありません。なお、ご不明な場合は、担当営業にお問い合わせください。

HIENG-T017E 2019.12
Printed in Japan(OL)

HITACHI
Inspire the Next

日立VoIPゲートウェイ

NTシリーズ

各拠点のPBXに接続して音声・データをIP統合
企業内通信コストを削減するVoIPゲートウェイ“NTシリーズ”で
さまざまなビジネス環境に応じたVoIPネットワークを実現します。

株式会社 日立情報通信エンジニアリング

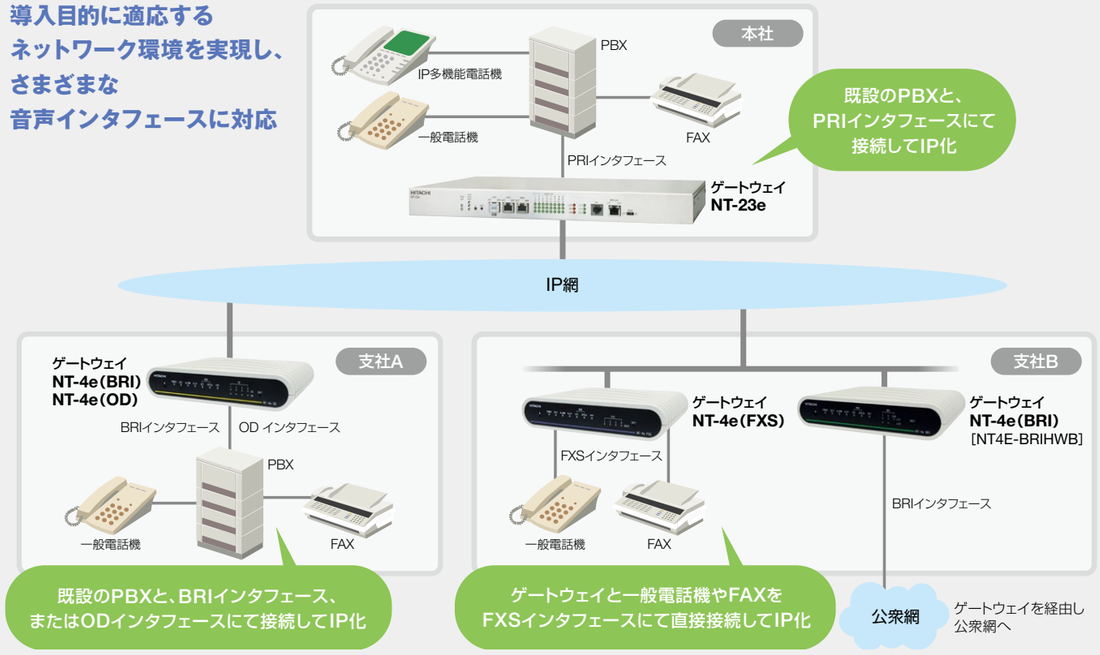
各拠点のPBXに接続して音声・データをIP統合
企業内通信コスト削減と高い通話品質を実現

音声もデータもIP網で統合できるVoIPは、企業内通信コストの削減の切り札です。VoIPゲートウェイ“NTシリーズ”は、既設PBXを利用したままVoIPネットワークが構築できるため、通信コストのみならず管理コストも削減します。日立が培った音声通信とネットワークそれぞれの専門技術を融合して、高い音声品質での通話を実現します。

- 既存設備のまま企業内通信コストを削減
- 各種音声インタフェースに対応したラインアップ
- さまざまなビジネス環境に応じたVoIP導入を実現

日立VoIPゲートウェイ
NTシリーズ

導入目的に適応する
ネットワーク環境を実現し、
さまざまな
音声インタフェースに対応



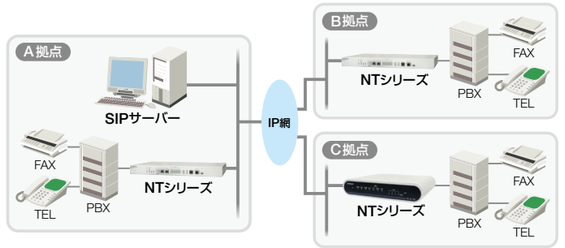
NTシリーズの主要機能

NTシリーズは、さまざまなニーズに多彩な機能と高い信頼性でおこたえします。

SIPサーバー接続　SIPサーバーによる一元管理が可能

「NTシリーズ」では、SIPサーバーを介した通信が可能です。豊富なPBX機能が実現できる日立IP-PBX「NETTOWER CX-01/CX-01 V2/MX-01」との接続はもちろん、各種SIPサーバー※1との接続が可能です。また、SIPサーバーに対して、物理チャネル数よりも多くの番号を登録する機能があるため、柔軟な番号体系を構成できます。※2

※1 各種SIPサーバーとの接続は接続検証が必要です。
※2 複数Registに対応。



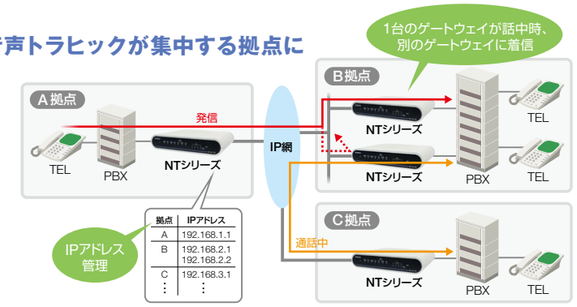
IPアドレス管理機能　ネットワーク上で、IPアドレスを端末ごとに管理

専用のSIPサーバーがなくても、同一ネットワーク上のIPアドレスと拠点番号を管理できます。さらに、ネットワークに接続されたPCから、ネットワーク上のすべての「NTシリーズ」に対してIPアドレスの追加／修正が行えます。これにより、拠点間の機器の増設や変更などにも容易に対応できます。

多段接続　音声トラヒックが集中する拠点に

音声トラヒックが多い拠点には複数台を多段接続することで対応できます。※1台のゲートウェイが話中でも、空いている他のゲートウェイに自動接続されます。

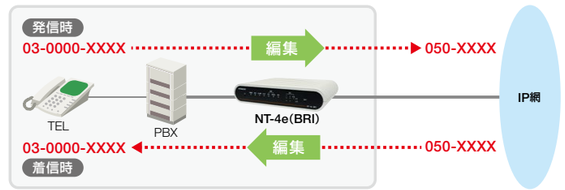
※「NTシリーズ」のみでネットワークを構築した場合に限ります。



発着信番号編集　多彩な番号編集が可能

「NTシリーズ」は、発着信時の発番号および着番号を編集することができます。※ 例えば、PBXからの発番号を編集して050番号に変換できるため、既設PBXが送出する発番号の設定を変更せずに、IP電話サービスへ移行できます。また、IP電話サービスからの着番号を編集して、PBXに設定しているダイヤルイン番号にマッピングできるため、既設PBXのダイヤルイン設定を変更せずに、IP電話サービスへ移行できます。

※ IP電話サービスおよび、機種によっては、本機能が利用できない場合があります。



カスケード接続機能

ゲートウェイの集約により
ランニングコストが削除可能

NT-4eはカスケード接続が可能です。アクセス回線契約やグローバルIPアドレスが1契約で済むため、月々のランニングコストが削減できます。

※ NT-4e(FXS)とNT-4e(BRI)の混在構成時は、NT-4e(BRI)をアクセス回線側に設置する必要があります。
NT-4e(OD)の場合は、NT-4e(OD)同士でのカスケード接続が可能です。

ゆらぎ吸収

途切れや雑音のない
音声通話を確保

VoIPネットワーク上で発生する「ゆらぎ」を効果的に吸収し、安定した音声通話を確保するゆらぎ吸収機能を搭載。
遅延時間などに応じて、リアルタイムでゆらぎ吸収バッファの大きさを自動制御することにより、途切れや雑音のない自然な通話を実現します。

PPPoE接続

インターネット接続に対応

PPPoE接続（クライアント）機能を実装しているため、インターネット回線接続時のブロードバンドルーターなどPPPoEクライアントを実装した機器を介さず終端装置へ接続できます。また、ICMPなどの保守通信に対するフィルタリング機能を実装しているので、セキュリティを確保したネットワークを構築できます。

保守機能

ネットワーク管理や
構成情報設定などの運用管理

SNMPによるネットワーク管理が可能です。また、構成情報の設定や障害情報、装置状態、統計情報の確認がLANインタフェースからのWebブラウザにて保守可能です。